

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6 月 27 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住所 275-0001

千葉県習志野市東習志野7-6-1

氏名 日鉄溶接工業株式会社 習志野工場
工場長 弘中 伸和

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-479-1171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鉄溶接工業株式会社 習志野工場
事業場の所在地	千葉県習志野市東習志野7-6-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

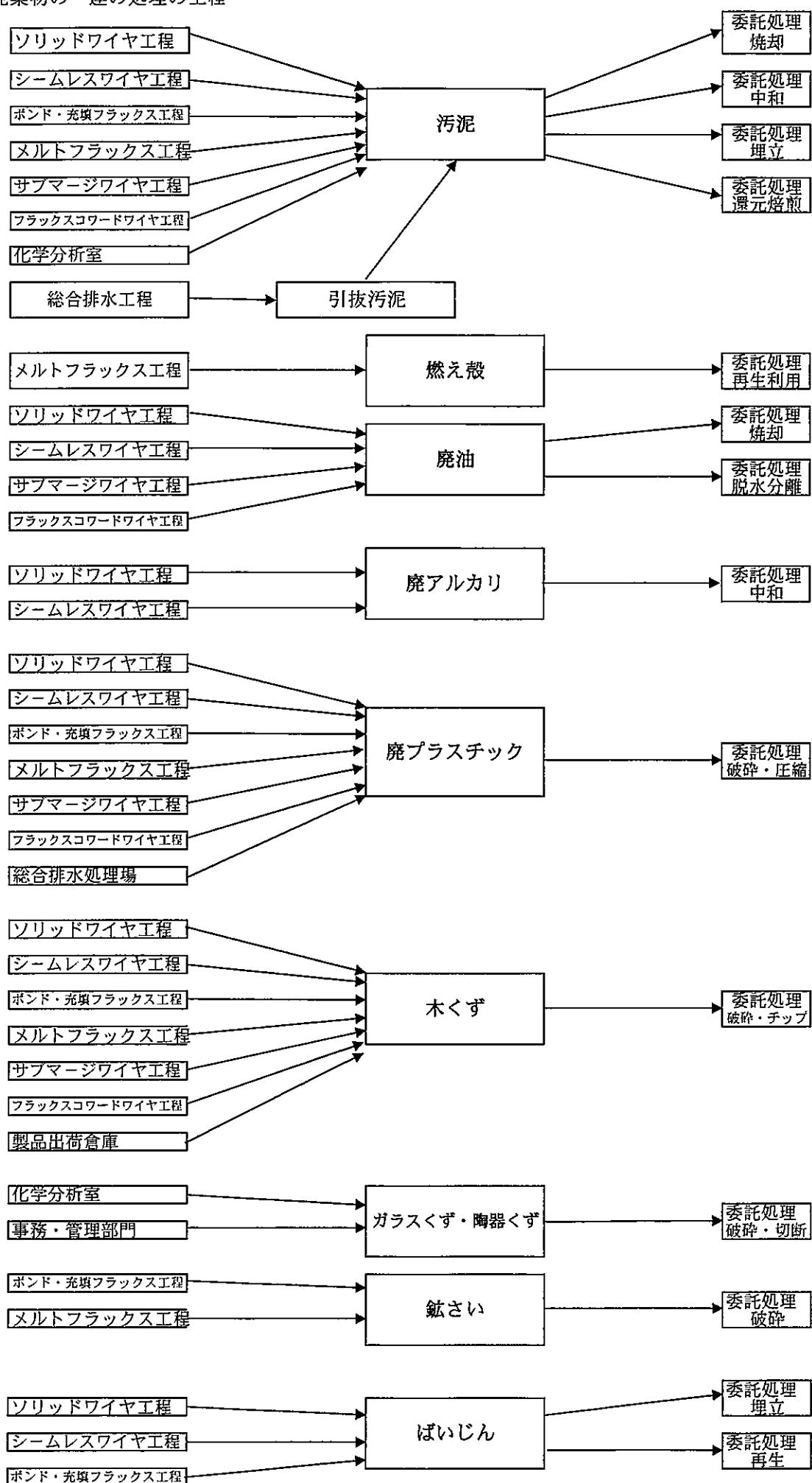
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類 製造業	中分類 鉄鋼業	小分類
② 事業の規模	製造品出荷額等	7,925百万円	
③ 従業員数	284名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1添付		



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の一連の処理の工程



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照のこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組） 弊社では、再生利用は実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組） 弊社では、今後とも再利用を実施しない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 ※別紙3参照のこと。

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 ※別紙3を参照のこと。

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ※別紙3参照のこと。

①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量			
		優良認定処理業者への処理委託量		
		再生利用業者への処理委託量		
		認定熱回収業者への処理委託量		
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組)			

※別紙3を参照のこと。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への処理 委託量		
	認定熱回収業者への処 理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

3. 廃棄物管理組織・体制

統括責任者	所属習志野工場	職：工場長
廃棄物担当組織名	公害防止組織	廃棄物担当組織人数：31人
処理計画組織規定	名称	環境管理委員会
	概要	経営責任者：工場長（社長より委任） 処理計画総括責任者：製造グループ長 処理計画作成機関：環境管理委員会 処理計画への関与：処理計画を作成する。 権限：産業廃棄物処理に関する工場内管理及び指揮。 責任範囲：産業廃棄物処理に関する計画、実行、管理。
	情報管理方法	（廃棄物処理実態の把握方法） ・処理担当者、委託業者から処理状況を定期的に確認。 （保管・委託に係る情報管理） ・産業廃棄物管理推進事務局にて一括管理。 ・管理状況は、環境管理委員会で報告（1回/月）
産業廃棄物対策組織図（令和3年. 4. 1改定）		
産業廃棄物処理責任者（工場長） 産業廃棄物処理副責任者 特別管理産業廃棄物管理責任者 環境管理委員会 ← 責任者が出席（欠席時、副代理出席） グループ 製造グループ ワイヤ（SFSW） FCワイヤ フラックス 生産業務グループ 生産技術グループ 設備グループ 品質管理グループ 管理グループ 研究所 習志野地区 機器事業部 プラズマ事業部 オプト事業部 生産技術部 技術サービスグループ 協力会社 責任者：各グループ長、チームリーダー 副責任者：主幹または主査		

- 備考 1. 処理計画組織規定の概要では、経営責任者、処理計画最高責任者、処理計画総括責任者、処理計画作成機関、処理計画の関与、権限責任範囲等を明確にする。
- 備考 2. 処理計画組織規定の情報管理方法には、廃棄物処理実態の把握方法、保管・委託に係る情報管理をどのように実施しているかを示す。

項目 (廃棄物種別)	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃酸	その他混 合廃棄物	ガラス・コン クリート くず及び陶磁 くず	鉱さい	金属屑	石綿含有 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	排出量(t)	257.89	18.80	7939.29	150.60	8.662	37.00	5.63	1.18	0.70	0.182	0.182	0.182
	(これまでに実施した取組)	再生利用可能な廃棄物 へ積極的に処分委託	焼却処理の最適化	排水設備管理の最適化に よる含排水の削減	—	—	パレットの修理・再利用	—	—	—	—	—	—
②計画 (目標)	排出量(t)	245.00	17.86	7542.33	143.07	8.23	27.75	5.35	1.12	0.67	0.17	0.17	0.17
	(今後実施する予定の 取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	有価買取へ一部処分変更	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持
産業廃棄物の分別に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	(分別している産業廃棄 物の種類及び分別に関 する取組)	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底
②計画 (目標)	(今後分別している産業 廃棄物の種類及び分別 に関する取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない	弊社では、再生利用は実 施していない
②計画 (目標)	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の 取組)	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない	弊社では、今後とも再生利 用の実施は行わない
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	自ら中間処理を行った 産業廃棄物の量(t)	—	—	7074.76	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	バイオエタノール製造工程の注 意的なろ過・洗浄工程による 含排水の適正処理	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない	弊社では、中間処理は実 施していない
②計画 (目標)	自ら中間処理を行った 産業廃棄物の量(t)	—	—	6721.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の 取組)	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	現状の維持	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない	弊社では、今後とも中間処 理の実施は行わない
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った産業廃棄 物の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない	弊社では、埋立処分又は 海洋投入処分を実施して いない
②計画 (目標)	自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物 の量(t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の 取組)	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない	弊社では、今後とも埋立処 分又は海洋投入処分の実 施は行わない
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状 (前年度 実績)	全処理委託量(t)	257.89	18.80	864.53	150.60	8.662	37.00	5.63	1.18	0.70	0.182	0.182	0.182
	焼却処理委託業者への処 理委託量(t)	257.89	0.00	781.91	122.35	6.412	37.00	5.63	0.00	0.00	0.182	0.182	0.182
	再生利用業者への処理委 託量(t)	257.89	0.00	490.84	0.00	0.00	37.00	0.00	1.18	0.00	0.00	0.00	0.00
	特定燃物処理業者への処 理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	特定燃物処理業者以外の燃 物処理を行う業者への処理 委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②計画 (目標)	(これまでに実施した取組)	再生利用可能な廃棄物 へ積極的に処分委託	焼却処理の最適化	排水設備管理の最適化に よる含排水の削減	分別の徹底	—	パレットの修理・再利用	—	—	—	—	—	—
	全処理委託量(t)	245.00	18.80	821.36	143.07	8.23	27.75	5.35	1.12	0.67	0.178	0.178	0.178
	焼却処理委託業者への処 理委託量(t)	245.00	0.00	742.81	116.23	6.09	27.75	5.35	0.00	0.00	0.178	0.178	0.178
	再生利用業者への処理委 託量(t)	245.00	0.00	466.30	0.00	0.00	27.75	0.00	1.12	0.67	0.00	0.00	0.00
	特定燃物処理業者への処 理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③計画 (目標)	(今後実施する予定の 取組)	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	現状の維持	有価買取へ一部処分変更	—	—	—	—	—	—
	全処理委託量(t)	245.00	18.80	821.36	143.07	8.23	27.75	5.35	1.12	0.67	0.178	0.178	0.178
	焼却処理委託業者への処 理委託量(t)	245.00	0.00	742.81	116.23	6.09	27.75	5.35	0.00	0.00	0.178	0.178	0.178
	再生利用業者への処理委 託量(t)	245.00	0.00	466.30	0.00	0.00	27.75	0.00	1.12	0.67	0.00	0.00	0.00
	特定燃物処理業者への処 理委託量(t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。

また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。